

機械器具 12 理学診療用器具
一般医療機器 止血用押圧器具（JMDN コード：70617000）

カッチンくん

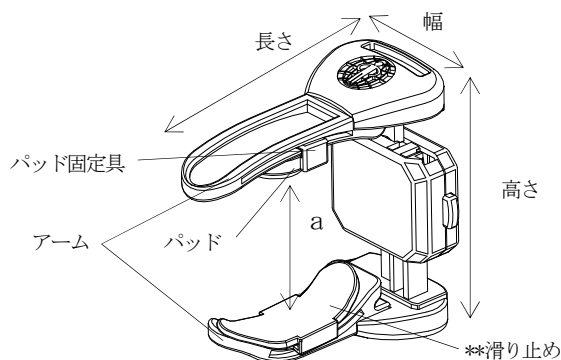
【禁忌・禁止】

- *《使用方法》
- *清潔区域では使用しないこと。〔無滅菌品であるため〕

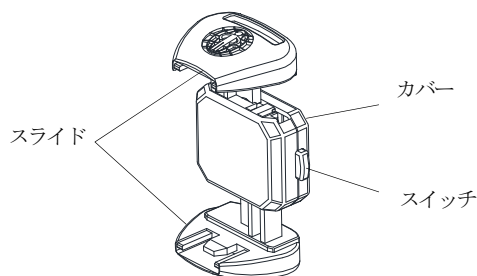
【形状・構造及び原理等】

<形状図>

**○止血器（代表図）

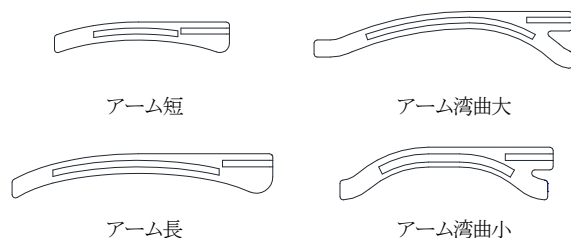


○止血器本体(M サイズ：緑色、L サイズ：青色)



スライドにアームを取り付け、止血時の圧迫力を調整するために使用する。スライドの形状は上下同じであるため、全てのアームが取り付け可能である。

○アーム（M サイズ：緑色、L サイズ：青色）



スライドに取り付け、カテーテル刺入部の圧迫及び止血のために使用する。任意に組み合わせ可能であり、患者の腕の大きさ、止血部位に適した止血が可能である。

○パッド固定具（M サイズ、L サイズ共通）



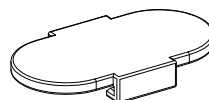
アーム側面の溝に取り付け、カテーテル刺入部にパッドを合わせるために使用する。

○パッド（M サイズ、L サイズ共通）



カテーテル刺入部をピンポイントで圧迫するために使用する。厚みは圧迫により切り替えが可能である。

**○滑り止め（M サイズ、L サイズ共通）



止血部位が容易にズレないように使用する。厚みは圧迫により切り替えが可能である。

<構成>

本品は以下の構成品から構成される。

**○M サイズ

構成品	個数	構成品	個数
止血器本体(M サイズ)	1 個	パッド固定具	2 個
アーム短	1 個	パッド(厚み 6mm)	3 個
アーム長	1 個	パッド(厚み 10mm)	2 個
アーム湾曲小	2 個	滑り止め(厚さ 3mm)	1 個
滑り止め(厚さ 5mm)	1 個		

**○L サイズ

構成品	個数	構成品	個数
止血器本体(L サイズ)	1 個	パッド固定具	2 個
アーム湾曲小	2 個	パッド(厚み 6mm)	3 個
アーム湾曲大	2 個	パッド(厚み 10mm)	2 個
滑り止め(厚さ 3mm)	1 個	滑り止め(厚さ 5mm)	1 個

<原理>

スライドに上下方向から力を加えることでラチェット機構（アームが閉じる方向へのみ一段ずつ上下同時に移動し、ある程度の力が加わっても開く方向には逆戻りしない機構）が作動し、アームを段階的に閉じながらカテーテル刺入部をピンポイントで圧迫することが出来る止血器である。また、スイッチを押すことでラチェット機構は解除され、アームが開き本品を取り外すことができる。

<製品仕様>

本体寸法

サイズ	幅×高さ	長さ
M	55mm×100mm	108mm(アーム湾曲大取り付け時) 100mm(アーム長取り付け時)
L	55mm×130mm	89mm(アーム湾曲小取り付け時) 76mm(アーム短取り付け時)

開閉距離

M サイズ：29mm L サイズ：42mm

※パッド、アーム間最大幅※

サイズ	状態	パッドの厚み	
		6mm	10mm
M	開	63mm (60mm/58mm)	59mm (56mm/54mm)
	閉	34mm (31mm/29mm)	30mm (27mm/25mm)
L	開	94mm (91mm/89mm)	90mm (87mm/85mm)
	閉	52mm (49mm/47mm)	48mm (45mm/43mm)

※パッド、アーム間最大幅は止血器図の a で示されている。

() 内は滑り止め併用時の値。(滑り止め 3mm/滑り止め 5mm)

【使用目的又は効果】

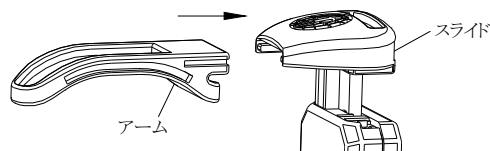
本品は人工透析終了時に、前腕又は上腕部のカテーテル刺入部位を圧迫止血するために用いる。

【使用方法等】

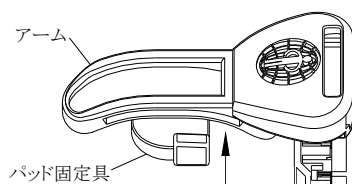
1. 患者の腕の大きさや部位に応じて、適切なサイズを準備する。

腕の厚さ	推奨サイズ
55mm 以下	M サイズ
55 ～ 65mm	M サイズ または L サイズ
65mm 以上	L サイズ

2. 患者の腕の大きさ、止血部位に適したアームを準備し、止血器本体のスライドにはめる。



3. パッド固定具をアーム側面の溝にはめる。



4. パッドをパッド固定具にはめる。

【注意】

指定のパッド以外は使用しないこと。

5. アームが完全に開いた状態であることを確認する。開いていなければ、スイッチを押して完全に開いた状態にする。
6. パッドの中心がカテーテル刺入部を圧迫するように、予めパッド固定具の位置を合わせておく。

【注意】

パッドが腕に当たった状態でパッド固定具の位置を合わせないこと。[パッドが外れる恐れがある。]

7. 折り畳んだガーゼ等をカテーテル刺入部に置き、止血器を腕に差込み、アームのパッド部分をガーゼの上から当て、スライドを慎重に押して 1 段ずつアームを閉じていく。

【注意】

指定のパッドは無滅菌品のため、カテーテル刺入部に直接当てないこと。

8. カテーテル刺入部とアームとの間に隙間がない状態であることを確認した後、カテーテルを抜き、スライドを押して圧迫力を調整しながら刺入部を圧迫する。

【注意】

- ※止血中は、適宜アーム及びパッド部の圧迫状態を確認すること。[患者の状態により、圧迫圧低下やずれの可能性があるため]。
- ・圧迫は患者の状態を確認しながら行い、痛みを伴う場合はスイッチ

を押して圧迫を解除し再度圧迫力を調整すること。

- ・止血中に出血が認められた場合は、直ちに再圧迫を行うこと。
 - ・皮膚の発汗や濡れて装着し難いなど、本体が外れる可能性やずれの可能性がある場合は使用しないこと。
 - ・止血中に手の鬱血や、橈骨動脈閉塞、尺骨動脈末梢の狭窄、止血部分の血腫、疼痛など異常があれば直ちに切り外すこと。
9. 止血を終了する際はスイッチを押して刺入部の圧迫を解除し、止血の確認後、患者の腕から取り外す。

【注意】

- ・出血が認められた場合は、再圧迫を行い、直ちに止血すること。
- ・スイッチを押さないまま無理にスライドやアームを開かないこと。[破損の原因となる。]

【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

1. 感染拡散防止のため、本品を複数の患者で共有することは避けること。
- *2. 止血する部位や血管の個人差で十分な止血も予想されるため、圧迫止血中はカテーテル刺入部及び患者の状態を注意深く観察すること。
3. 本品の使用中に、発赤等のアレルギー症状を起こした場合には、使用を中止し、適切な処置を施すこと。
4. 本品の装着の際はカテーテルに触れる操作を最小限にすること。
5. 圧迫止血後（取り外し時）は止血の状態を適宜確認し、圧迫緩和または解除を行うこと。
6. 有機溶媒を含む薬剤への浸漬、または薬剤による拭き取りを行わないこと。[ひび割れが生じる恐れがある。]
7. パッドは使用ごとに交換すること。

【不具合・有害事象】

*その他の不具合

本品の使用に伴い、以下のような不具合の可能性がある。

- ・パッド、及びパッド固定具の落下
- ・過剰な圧迫によるラチェット機構の破損

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

紫外線（直射日光・UV 殺菌灯など）、高温多湿、化学製品の保管場所やガスの発生する場所を避けて保管すること。

【保守・点検に係る事項】

【使用者による保守点検事項】

1. 本品を使用する前に、スライドの動きとなる締付けと解除（ラチェット機構）が問題なく作動することを確認する。
2. 本品は患者専用とし、高度な汚染を受けない限り日常的な洗浄、清拭のみで十分であるが、血液などで汚染された場合には、よく洗浄した後、1,000ppm (0.1%) 次亜塩素酸ナトリウムで消毒すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：東郷メディキット株式会社

住所：〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋字亀川 17148-6

電話番号：0982-53-8000

販売業者：メディキット株式会社

住所：〒113-0034 東京都文京区湯島 1 丁目 13 番 2 号

電話番号：03-3839-0201

